

羽田空港情報をご利用ください。

フライト情報やイベント情報、店舗情報など、インターネットで発信しています。

羽田空港 国内線旅客ターミナル BIG BIRD

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>

フライト情報をはじめ、羽田空港のご利用に有用な情報を網羅して発信しています。

BIG BIRD 検索



facebook

<https://www.facebook.com/haneda.airport>

イベントレポートや施設のおすすめ情報などをタイムリーに発信しています。上記ホームページからアクセスすることができます。



スマートフォン対応アプリ

ご搭乗予定のフライトを「マイフライト」として登録することができます。

スマートフォン端末向けアプリ概要

アプリ名	「羽田空港 国内線」
対象機種	iPhone iOS4.3以上搭載のiPhone Android OS 2.2以上の各社スマートフォン
提供方法	App Storeよりダウンロードいただけます。(無料) Google Playよりダウンロードいただけます。(無料)



第70期株主通信

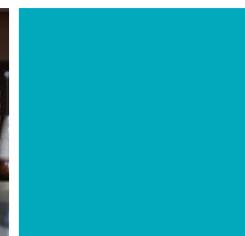
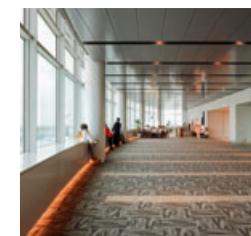
株主・投資家の皆さまへ

2013年4月1日～2014年3月31日



日本空港ビルディング株式会社
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

証券コード：9706



日本空港ビルディング株式会社
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号
(第1旅客ターミナルビル)

TEL:03-5757-8000

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>

VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC®認証用紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない「水なし印刷方式」を採用しています。

世界一の機能とサービスを誇る羽田空港へと進化し続けます。



代表取締役社長 鷹城 勲

Q 近年の航空旅客の動向を教えてください。

A 国の掲げる観光立国の推進、円安による割安感の浸透などにより、昨年は訪日外国人数が政府目標でもある「年間1,000万人」を突破し、航空旅客数についても、全体として順調に推移しています。

具体的には、当社経営の重要拠点である羽田空港では、国内線は、景気回復や昨年3月からの年間2万回の発着枠拡大に伴う増便により、また、国際線は、円安やビザ発給要件の緩和に伴う東南アジア諸国を中心とした訪日外国人の増加により、いずれも前年比で増加となりました。当社が免税店などを運営している成田空港、関西空港につきましても訪日外国人旅客の増加およびLCCの増便などにより、前年比で増加となりました。

今後も羽田空港の国際化の進展や、国によるさらなる観光立国の推進により、訪日外国人を中心に航空需要の拡大が見込まれます。

当社は、こうした需要拡大を踏まえ、既存サービスの向上を図ることはもとより、さらなる施設整備や利用者ニーズの多様化に応じた新しい空港サービスの提供に努め、収益増に結びつけてまいります。

Q 当期(2014年3月期)の主な取組みを教えてください。

A 中期経営計画(2013年度～2015年度)の初年度にあたり、3つの重点課題を中心に取り組みました。

具体的には、1つ目の課題である「羽田空港国際化への対応」につきましては、本年3月の国際線増便にあわせて、国内線旅客ターミナルにおいて、国際線への乗継利便を向上するための施設整備を実施いたしました。

2つ目の課題である「新しい空港運営の未来の構築に向けて」につきましては、従来、航空会社から徴収しておりました共用施設利用料を、本年4月よりお客さまから直接徴収させていただくこととし、新たなターミナル運営スキームに変更いたしました。

3つ目の課題である「事業収益性の改善」につきましては、国際線の店舗において、訪日外国人旅客のニーズに沿った

きめ細やかな施策を展開することで、購買単価の改善を図り収益性の拡大に努めました。

Q 中期経営計画(2013年度～2015年度)の数値目標の進捗を教えてください。

A 中期経営計画初年度ですでに売上高、営業利益ともに2年目の数値目標を上回りました。

訪日外国人増加を追い風とした航空旅客の増加や、免税品販売などにおける円安による割安感の浸透などにより、1年目にあたる当期(2014年3月期)は、営業収益で約100億円、経常利益でも約25億円計画値を上回り、営業利益率においても1%以上計画値を上回ることができました。

さらに今期(2015年3月期)の業績予想においては、中期経営計画の最終年度となる来期(2016年3月期)の計画値も上回る見込みとなっております。

こうした状況、さらには、昨年9月に2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定したことなど、さまざまな環境変化が生じていることも考慮し、計画を修正する必要があると考えております。

Q 次期以降の取組みについてお聞かせください。

A さらなる国際化に対応するため、ハード・ソフトの両面で施策を実施してまいります。

10年、20年後のアジア太平洋地域における航空旅客需要の大幅な増加が見込まれるなか、首都圏のゲートウェイ空港である羽田空港は、国によるさらなる観光立国の推進や2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催もあり、国内の他の公共インフラと比較して、極めて大きな発展性が見込まれます。

当社グループとしては、こうした変化を大きなビジネスチャンスとして捉え、収益増に結び付けるための諸施策を着実に推進してまいります。

すでに、本年3月には国内線旅客ターミナルにおいて内線乗継施設の整備を実施し、運用を開始したことに加え、本年9月には、国際線ターミナルに隣接し日本初のトランジットエリアを有するホテル「ロイヤルパークホテル ザ羽田」の開業を予定しております。また、新規店舗として国

内線第1旅客ターミナルで展開している「イセタン 羽田 ストア(メンズ)」の2号店を本年6月に第2旅客ターミナルにて開店し、レディス店舗1号店を本年7月に第1旅客ターミナルにて開店を予定しております。

今後も国土交通省の首都圏空港の機能強化を踏まえ、ハード・ソフトの両面で施策を展開してまいります。

Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

A 羽田空港全体の機能向上に努め、世界No.1の品質を誇る空港を目指していきたいと考えています。

期末配当金につきましては、1株あたり5円と予想しておりましたが、2円増配し、7円とすることといたしました。これにより年間配当金は中間配当金6円と合わせて、中期経営計画で目標としておりました、1株あたり13円とさせていただきます。

昨年は、日本全体の訪日外国人旅客数が政府目標である「年間1,000万人」を突破いたしました。政府は今後の目標として、2020年東京オリンピック・パラリンピックなどを追い風として、「2020年を目途に訪日外国人旅行者年間2,000万人の高みを目指す」と掲げております。

こうした状況を踏まえ、羽田空港全体の機能向上に努め、国内線と国際線の区別なく、羽田空港を利用されるすべてのステークホルダーに対して、利用者本位のサービスを提供するために、国、空港関連企業や他の交通機関とも連携して世界No.1の品質を誇る空港を目指していきたいと考えています。

おかげさまで羽田空港国内線・国際線ターミナルは英国の航空サービスリサーチ会社であるSKYTRAX社が全世界410の空港を対象に実施する国際空港評価において、国内線空港総合評価部門および空港の清潔などを評価する部門の2部門で、2013年、2014年の2年連続で世界第1位となりました。当社は、利用者第一主義を徹底し、ヒトやモノの交流のさらなる拡大に資するターミナル施設とサービスを提供し続けることで、今後も企業価値のさらなる向上に全力を尽くしてまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1 羽田空港国際化への対応 羽田空港からの海外旅行が より便利に、より快適になりました。

羽田空港の国際線昼間時間帯発着枠が拡大し、国際路線が増便となりました。それに対応するため、国内線と国際線の乗継施設を整備し、また、本年9月末の開業に向け「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」の開業準備を進めております。

1 羽田空港からの海外旅行が さらに便利に

本年3月30日から



昼間発着回数が3万回増加。それにより、国際線の便数が大幅に増加し、羽田空港からの海外旅行がますます便利になりました。

羽田空港
出発便が
1日24路線
約77便に



当社は、出国エリア内にフードコート「TOKYO SKY KITCHEN」を展開。さまざまなメニューをご用意しております。



ALL DAY AIR DINING



【Chowder's】シアトル直送のヘルシーな食べるスープ



【叙々苑】日本を代表する焼肉レストランの焼肉丼

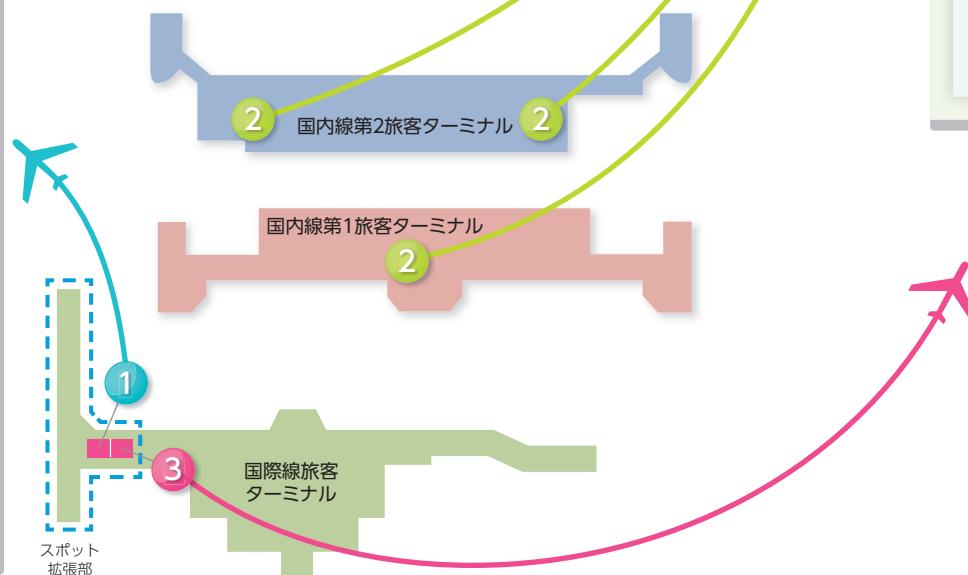


©東京国際空港ターミナル株式会社



出発コンコース

到着コンコース



2 国内線と国際線の乗継がますますスムーズに

本年3月30日運用開始



羽田空港国際線発着枠拡大に合わせて、国内線旅客ターミナルでは国内線と国際線の乗継施設を整備し、運用を開始。乗継でストレスのないスムーズな動線が確保されたことにより、乗継にかかるターミナル内の移動時間が短縮されるなど、利便性が向上しました。



国内線乗継専用通路とエレベーター・エスカレーターの設置

国内線から国際線への乗継ぎ専用通路を新しく設置。ターミナル内の移動時間を短縮しました。この専用通路には車いすの方やお年寄りが乗降しやすいバリアフリー対応エレベーター・エスカレーターを設置しました(写真奥)。



国際線から国内線への乗継用エスカレーターの増設

今後ますます増加する乗継のお客さまにスムーズな移動をしていただけるように国際線から国内線の乗継用エスカレーターを増設しました。

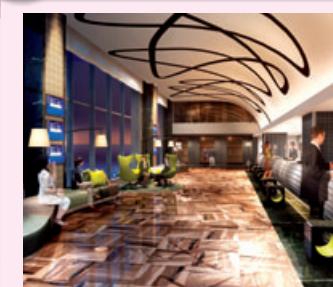


出発バスラウンジの拡張

国内線から国際線へ移動するバスを待つための出発バスラウンジを一部拡張しました。お待ちいただくお客さまのためにベンチシートを増設し、優先席も多く設けました。

3 「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」開業に向けて準備が進む

本年9月30日開業予定



フロント・ロビー



カフェ&ラウンジ

「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」が、いよいよ開業いたします。地上8階建てのホテル棟は、エントランスが国際線旅客ターミナル3階出発ロビーに位置する抜群のロケーション。客室は全313室で、うち17室はターミナルの保安エリア内にあり、国際線を乗り継ぐお客さまが入国手続きを行わずに宿泊できる国内初のトランジットホテルです。

当社では、必要利益の安定確保と株主還元向上、および財務健全性の継続を目標とする3カ年の中期経営計画(2013年度～2015年度)を策定し推進しております。その初年度を終了し、当初計画値を上回る好実績となりました。また、2年目にあたる2014年度の業績予想は2015年度の計画値を上回る見込みとなっております。

初年度の主な施策

- 2014年3月の国際線増便に合わせて、内陸乗継施設の整備などの実施
- 共用施設利用料について、施設に係る便益と費用負担の関係を明確化
- 「イセタン 羽田 ストア」メンズ2号店、レディース店舗の展開準備

数値計画の進捗

(単位:億円)	2013年度		2014年度	2015年度
	計画	実績	業績予想	計画
営業収益	1,359	1,471	1,576	1,540
営業利益	43	61	83	80
経常利益	32	57	76	70
EBITDA	177	194	209	205
営業利益率(%)	3.2	4.2	5.3	5.2

羽田空港が国際空港評価2部門で2年連続世界第1位



SKYTRAX社が世界410空港を対象に実施する空港評価において、羽田空港国内線第1・第2旅客ターミナルと国際線旅客ターミナルが、2部門で2年連続世界第1位を受賞いたしました。2年連続受賞を励みに、今後もお客さまの利便性、快適性、機能性を第一に考えてサービス向上に努めてまいります。



国内線空港総合評価部門 世界第1位 羽田空港 国内線旅客ターミナル

国内線空港の総合評価部門で、その優れた機能とアクセスなどが評価され、2年連続で世界第1位となりました。

清潔快適環境評価部門 世界第1位 羽田空港国内線・国際線旅客ターミナル

空港の清潔さや快適さなどを評価する部門で、2年連続で世界第1位となりました。

※羽田空港では、国内線第1・第2旅客ターミナルは日本空港ビルデング株式会社が所有、管理・運営しております。国際線旅客ターミナルは東京国際空港ターミナル株式会社が所有、管理・運営し、日本空港ビルデング株式会社が主要な運営業務の一括受託などしております。

空港評価の他部門でもランクアップ&ランクイン

空港総合評価部門	第 6 位 (昨年9位)	物販部門	第 6 位
飲食部門	第 3 位	娯楽・レジャー施設部門	第 6 位
アジア圏における空港部門	第 4 位	アジア圏におけるスタッフ部門	第 2 位

SKYTRAX社の「国際空港評価」
英国の航空サービスリサーチ会社SKYTRAX社が行う世界の空港や航空会社の評価で、チェックイン、出発・到着、乗り継ぎ、ショッピング、出発時のセキュリティーや出国管理など、39の指標と空港利用者の実体験により評価されています。



「イセタン 羽田 ストア」2店舗がオープン

2012年4月に羽田空港国内線第1旅客ターミナル内にオープンした「イセタン 羽田 ストア」。ご好評を受けて、メンズ2号店を本年6月13日にオープンいたしました。さらに初となるレディース店舗を本年7月18日にオープンいたします。

イセタン 羽田 ストア(メンズ)ターミナル2



6月13日Open

営業時間：8:00～20:00



出店場所

羽田空港国内線第2旅客ターミナル
2階出発ゲートラウンジ
65番搭乗口付近

イセタン 羽田 ストア(レディース)ターミナル1



7月18日Open

営業時間：8:00～20:00



出店場所

羽田空港国内線第1旅客ターミナル
2階出発ゲートラウンジ
10番搭乗口横

旅でなくても立ち寄りたい 新店舗が続々オープン!



第1旅客ターミナル

1 2階

カフェベネ  **caffè bene**
韓国の人気カフェチェーンの日本1号店。こだわりのコーヒーや紅茶、フード、スイーツを、シックなインテリアの店内でお楽しみいただけます。



2 3階テラスレストラン北

MMCオーガニックカフェ  **MMC ORGANIC CAFE**
有機栽培コーヒーとアレンジメニューを中心に、パンケーキ・ホットドッグ・パスタをご提供いたします。



3 3階テラスレストラン北

一休茶屋  **一休茶屋**
牛タンと卵かけ丼の専門店。特上の牛タンや、厳選された蔵王滋養卵を使用した卵かけ丼をご提供いたします。



4 3階テラスレストラン北

築地青空三代目  **築地青空三代目**
鮮度、食感、味付けにこだわった寿司や海鮮丼をご提供いたします。



第1旅客ターミナル

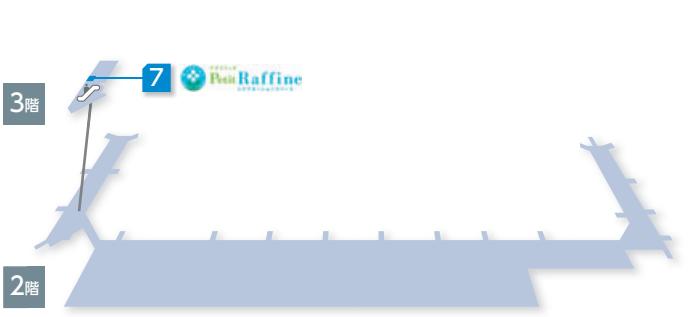


5 地下1階

メガネショップJINS  **JINS**
高機能、高品質なメガネを低価格で提供する人気メガネショップ。さまざまなシーンに似合うメガネを種類・デザイン豊富に取り揃えております。



第2旅客ターミナル



第2旅客ターミナル

7 出発ゲートラウンジ北ピア3階

プチラフィネ  **Peti Raffine**
ご搭乗前に心と体を癒す快適な時間をお過ごしいただけるリラクゼーションスペース。短い15分からのコースもご用意しております。



6 1階到着ロビー

HANEDA AIR SHOP  **HANEDA AIR SHOP**
旅や航空機にちなんだ雑貨や玩具を取り揃え、航空機ファンだけでなくお客さまの旅を楽しく便利にするショップです。



「羽田スタースイーツ」に
人気ブランドが登場



STAR SWEETS
HANEDA

スターになるブランドを羽田空港から
全国・世界に発信するスイーツの
セレクトショップ「羽田スタースイーツ」から
3つの新ブランドをご紹介します。



「あも」

「叶 匠壽庵」

滋賀県大津市の老舗ブランド「叶 匠壽庵」が初出店。季節に合わせた和菓子を取り扱いますので、どうぞご賞味ください。

「治一郎」

「治一郎のバウムクーヘン」は、素材にも焼き加減にもこだわり、23層もの年輪を、ぎりぎりの火加減でレアに焼き上げ、しっとりとした食感を作り出した職人技の傑作です。



「治一郎のバウムクーヘン」



「リンゲージリング」

「リンゲージ」

「銀のぶどう」のプロデュースによる話題の新ブランド。選り抜いた3種をブレンドした芳醇なバターのみわいが、こがし砂糖のコクと穀物の香りにさっくり絡み合います。

販売場所

羽田スタースイーツ

羽田空港第1旅客ターミナル2階
マーケットプレイス
営業時間：6:00～20:00



CSRの
取組み

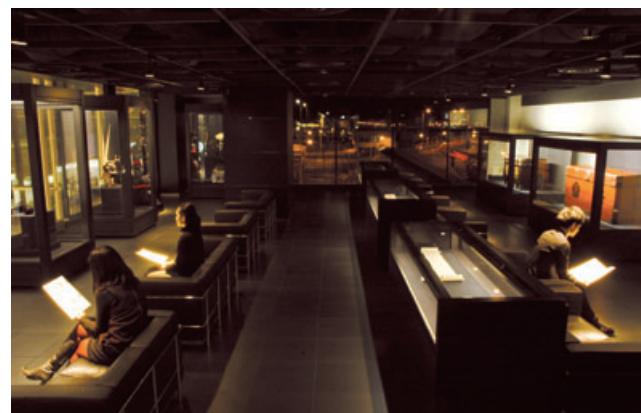
～高い公共性を担う企業グループとして～

当社グループは、基本理念に「公共性と企業性の調和」を掲げ、企業性の追求と同時に、高い公共性を担う企業グループであるとの認識のもと、さまざまなCSR活動に取り組んでおります。



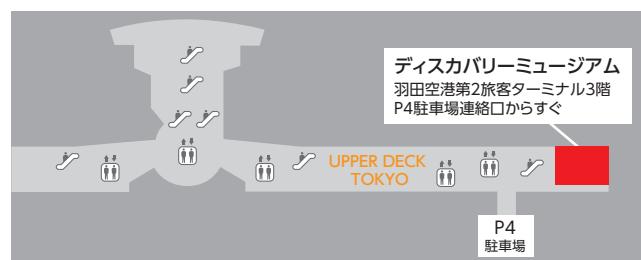
Discovery
Museum

日本初の空港内美術館
「ディスカバリーミュージアム」



開館時間：11:00(土日祝10:00)～18:30(最終入場18:00) ※入場無料

場 所 羽田空港第2旅客ターミナル3階
保安検査場D(時計台6)を目指してお越しください。



羽田空港国内線第2旅客ターミナル3階に、日本初の空港内美術館として2010年に開設された「ディスカバリーミュージアム」は、700年の歴史を持つ細川家の至宝を管理する永青文庫の企画展や、その他の特別企画展を開催しています。

入場無料の館内は、ソファを数多く配置したラウンジ風の新しいスタイルで、旅行者の方をはじめ、どなたでもお気軽に、ゆったりと美術鑑賞して、日本の美と心をディスカバリー(発見)していただけます。



永青文庫

細川家に伝来する歴史資料や美術品などの文化財を管理保存・研究し、一般に公開する公益財団法人。国宝8点、重要文化財32点を含む、およそ6,000点の美術工芸品と48,000点の歴史文書を所蔵しています。



黒楽茶碗 銘 おとごぜ



訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを PAX INTRANTIBVS SALVS EXEVNTIBVS

このラテン語の銘文は、中世の風情を色濃く残す珠玉の城塞都市・ドイツ連邦共和国ローテンブルク市のシュピタル門に刻まれているものです。当社グループは、この銘文をCS理念とし、羽田空港を利用されるすべてのお客さまにご満足いただけるよう、サービス向上に取り組んでいます。お客さまから寄せられたご意見・ご要望にお応えした取組みの一部をご紹介します。

Voice 保安検査場上部の搭乗口サインの各ゲート番号に、航空会社名の表記をつけてほしい。

Action 搭乗口案内サインにエアラインのロゴを追加しました。

第1旅客ターミナル出発保安検査場は、利用可能な入り口が航空会社ごとに分かれているため、搭乗口案内サインのゲート番号にエアラインのロゴを追加しました。

【対象箇所】
第1旅客ターミナルビル
2階出発ロビー出発ゲートA~G
サイン設置 全6箇所



Voice 第1旅客ターミナル2階のトイレ案内表示は、壁に平面に設置しており分かりにくい。

Action 誘導ピクトを追加しました。

通路の先にある男女それぞれのトイレをわかりやすくするため、誘導ピクトを追加しました。



Voice 子供が自由に遊べるキッズコーナーを一般区域にも設置してほしい。

Action キッズコーナーを一般区域に設置しました。

出発ゲートラウンジ内のみであったキッズコーナーを、空港見学やお見送りのお客さまにもご利用いただけるよう、一般区域内にも設置しました。

【設置場所】
■第1旅客ターミナル
2階出発ロビー北側(G検査場付近)
■第2旅客ターミナル
2階出発ロビー中央(金の翼付近)



Voice 大人用の便座は大きいため、小さい子供が座れるような補助用の便座を用意してほしい。

Action お子さま用補助便座を設置しました。

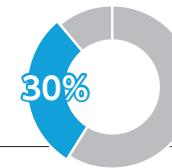
小さなお子さまでも安心してご利用いただけるよう、第1・第2旅客ターミナル全ての多目的トイレにお子さま用補助便座を設置しました。



事業別概況

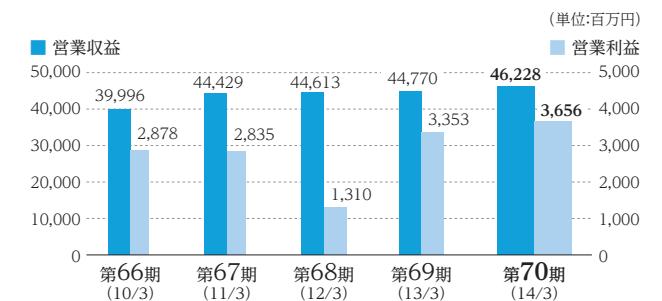


施設管理運営業

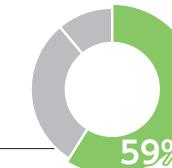


対前期比増収増益となりました。

- テナント歩合賃料の増収などにより家賃収入が微増。
- 国内線施設利用料収入が増加。
- 駐車場収入やエアポートラウンジ収入などが増加。



物品販売業

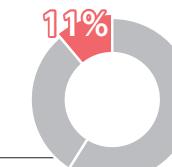


対前期比増収増益となりました。

- プライベートブランド商品の拡充や販売促進、訪日外国人旅客数の増加などにより、国内線売店売上、国際線売店売上ともに増加。

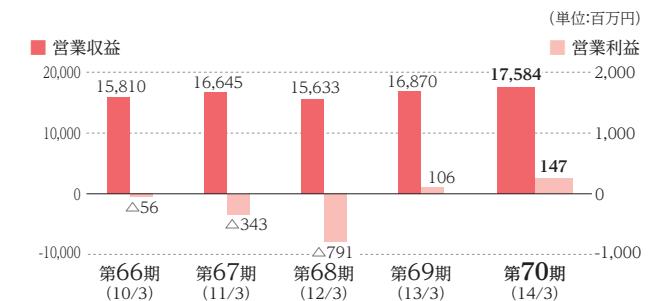


飲食業



対前期比増収増益となりました。

- 飲食店舗売上は、航空旅客数の増加や新規直営店舗展開、積極的な営業活動などにより増加。
- 機内食売上は、顧客である外国航空会社の旅客数減少や減便の影響により微減。

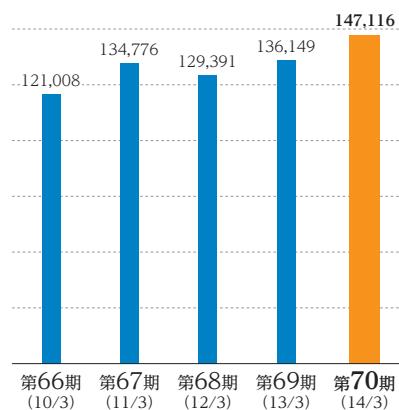


連結財務ハイライト

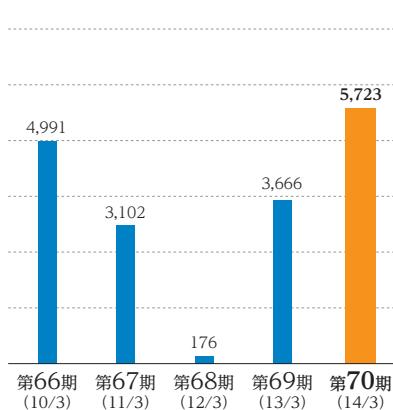
決算のポイント

- 営業収益 ▲ 航空旅客数の増加に伴い、商品売上を中心に増収
- 経常利益 ▲ 上記要因に加え、商品原価の低減や各種コストの削減効果により増益
- 総資産 ▲ 現金及び預金の減少、減価償却に伴う有形固定資産の減少などにより微減

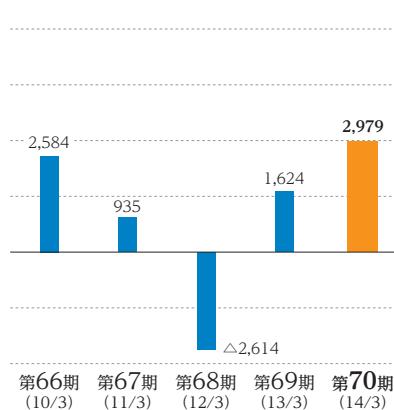
□ 営業収益(百万円)



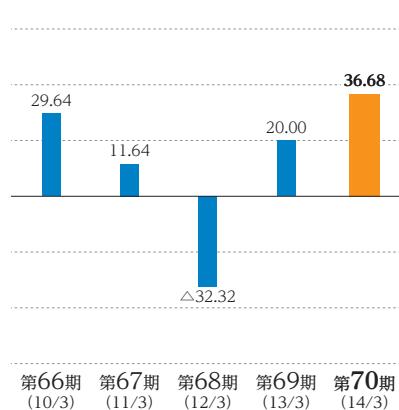
□ 経常利益(百万円)



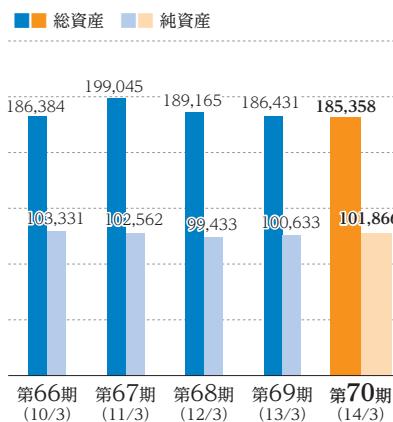
□ 当期純利益(百万円)



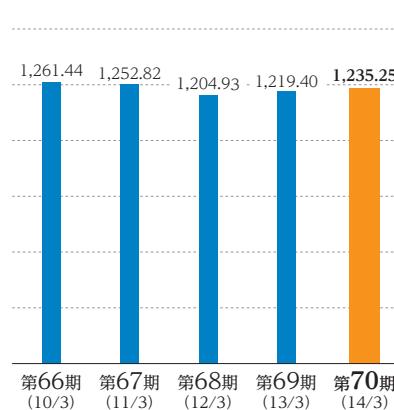
□ 1株当たり当期純利益(円)



□ 総資産／純資産(百万円)



□ 1株当たり純資産(円)



連結財務諸表 (要旨)

		(単位:百万円)				(単位:百万円)	
連結貸借対照表		前期 2013年3月31日現在	当期 2014年3月31日現在	連結損益計算書		前期 自2012年4月1日 至2013年3月31日	当期 自2013年4月1日 至2014年3月31日
資産の部				営業収益			
流動資産	32,584	32,088	営業総利益				
固定資産	153,846	153,270	販売費及び一般管理費				
有形固定資産	122,761	116,182	営業利益				
無形固定資産	2,214	1,949	営業外収益				
投資その他の資産	28,870	35,137	営業外費用				
資産合計	186,431	185,358	経常利益				
負債の部				特別利益			
流動負債	30,069	31,472	特別損失				
固定負債	55,728	52,019	税金等調整前当期純利益				
負債合計	85,798	83,492	法人税、住民税及び事業税				
純資産の部				法人税等調整額			
株主資本	100,434	102,397	少数株主損益調整前当期純利益				
その他の包括利益累計額	△1,382	△2,058	少数株主利益				
少数株主持分	1,581	1,527	当期純利益				
純資産合計	100,633	101,866					
負債純資産合計	186,431	185,358					
				連結キャッシュ・フロー計算書			
				営業活動によるキャッシュ・フロー			
				投資活動によるキャッシュ・フロー			
				財務活動によるキャッシュ・フロー			
				現金及び現金同等物に係る換算差額			
				現金及び現金同等物の増減額(△は減少)			
				現金及び現金同等物の期首残高			
				現金及び現金同等物の期末残高			

詳細な財務情報は、当社ホームページ「株主・投資家情報」をご覧ください。<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>

会社概要 (2014年6月27日現在)

会社概要	
商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営 (2) 物品販売業務 (3) その他のサービス業務

本社及び営業所など	
本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 (丸の内ビルディング14階)
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府東南郡田尻町泉州空港中1番地
中部営業所	愛知県常滑市栄町一丁目124番地

グループ構成	
施設管理 運営業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本空港テクノ(株) ■ 羽田エアポートセキュリティー(株) ■ (株)櫻商会
物品販売業	<ul style="list-style-type: none"> ■ (株)ビッグウイング ■ 羽田旅客サービス(株) ■ ジャパン・エアポート・グラウンドハンドリング(株)
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際協商(株) ■ (株)日本空港ロジテム ■ (株)羽田エアポートエンタープライズ ■ (株)浜真 ■ 羽双(成都)商貿有限公司 ■ 東京エアポートレストラン(株) ■ コスモ企業(株) ■ (株)シー・ティ・ティ ■ 会館開発(株)

役員			
代表取締役社長執行役員	鷹城 勲		
取締役副社長執行役員	横田 信秋		
取締役副社長執行役員	鈴木 久泰		
専務取締役執行役員	那波 史郎		
専務取締役執行役員	赤堀 正俊		
常務取締役執行役員	越智 久男		
常務取締役執行役員	浅野 文郎		
常務取締役執行役員	篠原 敏夫		
常務取締役執行役員	宮内 公英		
常務取締役執行役員	米本 靖英		
常務取締役執行役員	河合 誠		
取締役(非常勤)	高木 丈太郎		
取締役(非常勤)	小谷 昌		
取締役(非常勤)	洞 駿		
取締役(非常勤)	大西 賢		
監査役	小川 洋一		
監査役	古賀 幸		
監査役(非常勤)	赤井 文彌		
監査役(非常勤)	樋口 公啓		
監査役(非常勤)	竹島 一彦		
常務執行役員	阿南 優樹		
常務執行役員	仲野 眞琴		
常務執行役員	田中 一仁		
執行役員	徳武 大介		
執行役員	大谷 益夫		
執行役員	久保 健治		
執行役員	正木 弘明		
執行役員	炭本 悟		
執行役員	川崎 智洋		
執行役員	藤野 威		
執行役員	小山 陽子		
執行役員	藤本 篤史		

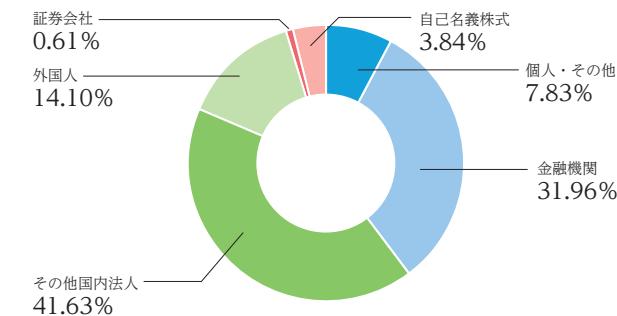
株式情報 (2014年3月31日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	288,000,000 株
発行済株式の総数(うち自己株式 3,246,682株)	84,476,500 株
株主数	6,095 名

大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	4,398	5.41
ANAホールディングス株式会社	4,398	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	4.19
株式会社みずほ銀行	3,300	4.06
三菱地所株式会社	3,111	3.83
大成建設株式会社	2,831	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,378	2.92
日本通運株式会社	2,337	2.87
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	2,102	2.58

(注)持株比率は自己株式(3,246,682株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

財務情報は、当社ホームページの「株主・投資家情報」をご覧ください。

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>



株主優待のお知らせ

当社では3月31日時点の株主さまに対して、毎年6月下旬の年1回、株主ご優待券を配布させていただいております。

株主ご優待券

羽田空港旅客ターミナル内店舗をはじめとする当社指定店舗にてご利用いただけます。



ご所有株式数	ご優待券
100株以上1,000株未満の場合	1枚 1,000 円分
1,000株以上10,000株未満の場合	2枚 2,000 円分
10,000株以上の場合	3枚 3,000 円分

ご利用いただける店舗

- 羽田空港 第1・第2旅客・国際線ターミナル
※一部店舗、商品(金券など)によってはご利用いただけない場合がございます。
- 成田空港の当社指定の店舗
- 関西空港の当社指定の店舗
- GIFTrip by JAPAN DUTY FREE (アクアシティお台場)
- Tokyo's Tokyo (東急プラザ表参道原宿)



羽田空港 第1旅客ターミナル
[MARKET PLACE]

株主ご優待割引券

羽田空港、成田空港および関西空港内の当社指定免税売店でご利用いただける「株主ご優待割引券(10%引)」を1単位(100株)以上ご所有の株主さまに対し、**一律5枚配布**いたします。



ご所有株式数	ご優待券
100株以上	割引券(10%引) 5枚

ご利用いただける店舗

- 羽田空港 国際線旅客ターミナル
国際線3F出国エリア中央にございます「TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL店」のみのご利用となります。
- 成田空港、関西空港の当社指定の店舗



羽田空港 国際線旅客ターミナル
[TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL店]

株主ご優待券について、詳しくは、同送のご利用可能店舗一覧または以下のURLをご覧ください。

http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html

上場株式等の配当等に係る税金に関するご案内

[2014年2月時点での情報を基に作成しております。]

2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る軽減税率が廃止され、2014年1月1日以降に支払開始日を迎える上場株式等の配当等の税率は本則税率となります。また、2013年1月1日～2037年12月31日までの25年間は、復興特別所得税として基準所得税額に対して2.1%を乗じた金額が課税されます。具体的な税率は、下表をご参照ください。



※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主さまにつきましては、別の税率となりますので、ご注意ください。
※その他詳細につきましては、所轄の税務署にお問い合わせください。

基本理念



JAPAN AIR TERMINAL

1953年、当社は羽田空港の旅客ターミナルビルの建設・管理運営を目的として設立されました。

現在、当社グループは、施設管理運営業のほか、免税店などの物品販売業、空港内レストランや機内食製造・販売などの飲食業を展開しております。

日本空港ビルグループのCS理念

「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」をCS理念とし、すべてのお客さまにご満足いただけるよう、サービスの向上に取り組んでいます。

基本理念

公共性と企業性の調和

経営方針

- 旅客ターミナルビルにおける絶対安全の確立
- お客さま本位(利便性・快適性・機能性)の旅客ターミナルビル運営
- 安定的かつ効率的な旅客ターミナルビル運営
- 企業体質の強化およびグループ企業の総合力向上